

# よくある動作障害例と確認方法

**障害例： 装着後、規定速度以上となっても自動ロックされない**  
**障害例： 強制アンロックがされない、あるいは再ロック動作とならない**  
**障害例： 作動したり、しなかったり不安定**

確認1. 各配線の接触不良がないか再度ご確認ください。  
特にエレクトロタップで結線している配線は接触不良となる場合が多いのでご注意ください。  
※作動しない原因の9割以上が配線の接触不良です。

確認2. 車速信号確認用LEDが走行時に点滅しているかご確認ください。  
点滅しない場合は 車速信号 が入力できていません。結線場所に間違いがないか再確認をお願いします。  
**走行中に運転者がLEDを確認するのは大変危険です。必ず同乗者に確認してもらうようにしてください。**

確認3. ボディーアース線(黒)をドア金属部に接続していないかご確認ください。  
ドア金属部はアースされていませんので、適切なバッテリーマイナス線または、ドア以外の車体金属部に接続してください。

確認4. 装着時に周辺コネクタを外した場合、コネクタの半挿入が無いかご確認ください。

確認5. 車両タイプ1の場合、装置の橙線、紫線の接続先配線について下記事項をお試してください  
◎橙線接続先配線をボディーアースに接触させたとき、ドアロックとなるかどうか。  
◎紫線接続先配線をボディーアースに接触させたとき、ドアアンロックとなるかどうか。  
ドアロック、アンロックとならない場合は、結線先が違っていますので、再度取り付け説明書を参考に接続先をご確認ください

確認6. 車両タイプ4の場合、LockAct/UnLockAct/LockCtrl/UnLockCtrl配線が逆になっていないかご確認ください。  
逆に接続されている場合、ロックすべきタイミングでアンロックする動作となってしまいますので、見かけ上全く動作しない状況となります。  
これを確認するには、手でドアロックさせた後、車両を走行させて確認ください。規定速度以上でアンロックする場合は逆配線となってい  
また、LockActとLockCtrl配線、UnLockActとUnLockCtrl配線をそれぞれ逆結線してしまった場合は車両のコントロール側に電圧を出力  
してしまう結果となりますので、見かけ上は全く作動しない状況となります。疑われる場合は、テスターにて再度結線場所をご確認ください。

確認7. シートベルト信号線を接続しているかご確認ください。  
車両によっては、走行時かつシートベルトを装着している条件で 集中ドアロックスイッチ が無効となる場合があります。  
その様な車両の場合は、本装置の”シートベルト信号線”を運転席シートベルト信号線に接続する必要があります。  
※トヨタ車はほぼこの車両に該当すると思われます。

**障害例： 装着当初は正常動作していたが、最近たまに動かないときがある。**

確認1. 各配線の接触不良がないか再度ご確認ください。  
特にエレクトロタップで結線している配線は時間がたつとともに、接触表面が酸化して接触不良となる可能性があります。  
ギボシ端子等を使用して確実に接続してください。

**障害例： ドアロック後にすぐにアンロックされてしまう**

確認1. ドアアンロック条件信号線1及び2に結線されている配線の電圧をご確認ください。  
強制アンロックとなる信号線に正しい配線を接続しないと、常に ”アンロック条件成立” と判断し、アンロック動作を繰り返してしまいます。

**障害例： 停車時に何もしていないのにロック、アンロックされるときがある。**

確認1. 電氣的ノイズの影響を受けている可能性があります。  
本装置のボディーアース線の結線場所を別な場所に変更してご確認ください。  
また、本装置の設置場所を別な場所に変えてみると電磁ノイズの影響を受けなくなる可能性があります。